２０１９年４月２５日

明治安田生命　「家計」に関するアンケート調査を実施！
今年のＧＷ平均予算は「４７，２４９円」
ＧＷが１０連休と大型化したことによる消費動向は二極化の傾向が！
１０月に予定される消費増税は「家計」に大きな影響！
世のお父さんのおこづかいが大ピンチ！？

明治安田生命保険相互会社（執行役社長　根岸 秋男）は、「家計」に関するアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

１．今年のＧＷ（１０連休）の消費について（詳細は５～７ページ参照）

■**１０連休の消費動向は二極化の傾向が！**

・ＧＷに使う平均予算は「４７，２４９円」。今年のＧＷは、新天皇のご即位に伴う大型連休化を受けて、消費の押上げ効果が期待されており、約３割の人は、ＧＷの予算を昨年から増やすと回答。予算を「増やす」と回答した人の平均予算は「７０，２２２円」と、全体平均額よりも「２２，９７３円」多い結果に！

・一方、ＧＷの予算は約３割の人が「０円」と回答。また、約７割の人が予算を「変えない」「減らす」と回答しており、節約志向の人も多い結果に！

・ＧＷの過ごし方は１位が「自宅でゆっくり」（７４．７％）と圧倒的に多く、２位「国内旅行」（１５．４％）、３位「帰省」（１４．９％）

・また、平成最後の日の過ごし方でも１位は「自宅でゆっくり」（７６．１％）と圧倒的に多く、２位「帰省」（１５．５％）、３位「国内旅行」（１４．９％）

・ＧＷが１０連休と大型化したことによる一定の経済効果がみられるも、今年は５月１日に新天皇のご即位・元号改正を控え、「平成最後の日」、「令和最初の日」を家族等と「自宅でゆっくり」過ごしたいと考える人が多く、ＧＷ中の消費動向は二極化の傾向が！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が今年のＧＷの消費動向について分析！（７ページ）

２．消費増税が家計に与える影響（詳細は８～９ページ参照）

■**１０月に予定される消費増税は家計に大きな影響！！約６割の妻が増税後、おこづかいを「減らす」と回答！**

・消費増税が家計に与える影響では、実に７割弱の人が「影響が大きい」と回答！

・消費増税後、妻の約６割がおこづかいを「減らす」と回答。世のお父さん達の財布事情に大きな影響が！？

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が消費増税が家計に与える影響について分析！（９ページ）

３．家計の状況について（詳細は１０～１６ページ参照）

■おこづかい額・ランチ代

・おこづかい額は「２８，０８０円」と２年連続の増加！一方で、約９割の方は現在のおこづかいが不足と回答！希望額とは実に１万円以上の差が！

・ランチ代は調査開始以来最高額を更新！妻のランチ代は４年連続の増加、夫は減少！夫婦間の格差は更に拡大！

■キャッシュレス化の浸透

・決済手段は「現金派」と「キャッシュレス派（クレジットカード・電子マネー等）」がほぼ半々！

・決済手段が「現金」と答えた人は、「浪費を防げるため」「不正利用の恐れがあるため」の回答が多く「現金以外」と答えた人は「利便性が高い」「経済的メリットが大きい」の回答が多い結果に！

・さらなるキッシュレス化の浸透にむけては、新たなキャッシュレス手段の普及やポイント還元施策などが必要？

■家計における景気回復の実感はまだまだ遠い！？家計に余裕ができたと答えた人はわずか７．９％！

・現在の給与に満足している人はわずか１６．６％！給与に満足していない理由は、「貯蓄をするお金がないから」がトップ！

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が家計の状況について分析！（１８ページ）

４．貯蓄について（詳細は１９～２０ページ参照）

■約２割が貯蓄額「０円」と回答！平均貯蓄額は「１，２９３万円」！

・過去３年間の平均貯蓄額の推移をみると、全体の平均貯蓄額は３年前から１９万円、昨年から９０万円増加。男性は昨年から２０４万円増加しており、６０代、７０代は２，０００万円を超える！

・「将来のため」「いざというとき」「子どもの教育資金」などの貯蓄目的は女性の割合が高く、「家族旅行」「趣味」「マイホーム購入」「マイカー購入」は男性の割合が高い傾向に！

対象者の属性

1. 調査対象

20～79歳の既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2019年4月1日（月）～4月8日（月）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1，620人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男性	135	135	135	135	135	135	810
女性	135	135	135	135	135	135	810
計	270	270	270	270	270	270	1,620

【　目　　次　】

１．今年のＧＷ（１０連休）の消費について　・・・・　５ページ

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が今年のＧＷの消費動向について分析！　・・・・　７ページ

２．消費増税が家計に与える影響　・・・・　８ページ

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が消費増税が家計に与える影響について分析！　・・・・　９ページ

３．家計の状況について

（１）夫婦のおこづかい　・・・・１０ページ

（２）夫婦のランチ代　・・・・１２ページ

（３）キャッシュレスの浸透について　・・・・１３ページ

（４）家計の状況と理由　・・・・１５ページ

（５）給与の満足度と理由　・・・・１７ページ

当社チーフエコノミスト小玉 祐一が家計の状況について分析！　・・・・１８ページ

４．貯蓄について　・・・・１９ページ

１．今年のＧＷ（１０連休）の消費について

平成最後、令和最初の１０連休の消費動向は二極化の傾向が！

〇今年のＧＷの消費や過ごし方について聞いてみました。

〇ＧＷに使う平均予算は「４７，２４９円」となりました。今年のＧＷは、新天皇のご即位に伴う大型連休化を受けて、消費の押上げ効果が期待されるなか、約３割の人が、ＧＷの予算を昨年から増やすと回答しています。予算を「増やす」と回答した人の平均予算は「７０，２２２円」と、全体平均額よりも「２２，９７３円」多い結果となっています。

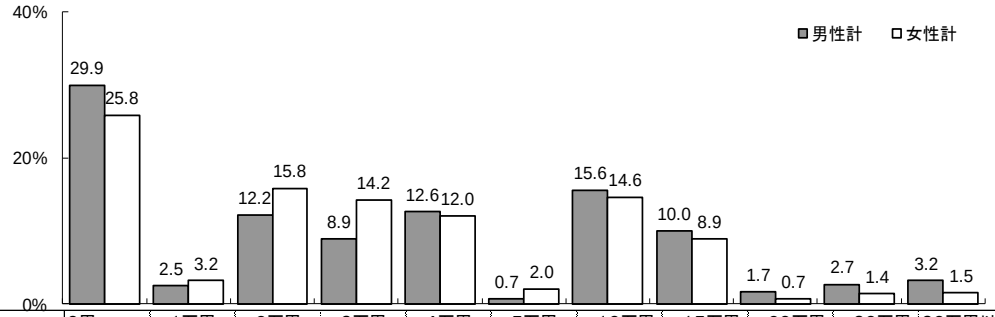
〇一方、ＧＷの予算は「０円」と回答した人が約３割を占める結果になっており、また、約７割の人が予算を「変えない」「減らす」と回答していることから、節約志向の人も多いようです。

〇ＧＷの過ごし方は１位が「自宅でゆっくり」（７４．７％）、２位が「国内旅行」（１５．４％）、３位「帰省」（１４．９％）の結果となりました。

〇また、平成最後の日の過ごし方について聞いてみたところ、１位が「自宅でゆっくり」（７６．１％）と圧倒的に多く、２位が帰省（１５．５％）、３位が「国内旅行」（１４．９％）という結果でした。

〇今年は５月１日に元号改正を控え、「平成最後の日」、「令和最初の日」を家族と「自宅でゆっくり」過ごしたいと考える人も多いようです。ＧＷが１０連休と大型化したことによる一定の経済効果がみられるも、ＧＷ中の消費動向は二極化の傾向があるようです。

Ｑ今年のＧＷにいくらくらいお金を使う予定ですか。



	回答者数	0円	～1万円未満	～2万円未満	～3万円未満	～4万円未満	～5万円未満	～10万円未満	～15万円未満	～20万円未満	～30万円未満	30万円以上	平均（0円含む）
	（人）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（%）	（円）
全体	1620	27.8	2.8	14.0	11.5	12.3	1.4	15.1	9.4	1.2	2.0	2.3	47,249
男性計	810	29.9	2.5	12.2	8.9	12.6	0.7	15.6	10.0	1.7	2.7	3.2	58,051
20代	135	22.2	4.4	11.1	11.1	14.8	-	17.0	11.9	3.0	2.2	2.2	74,067
30代	135	18.5	2.2	10.4	12.6	13.3	-	23.0	9.6	2.2	2.2	5.9	71,622
40代	135	23.7	3.0	10.4	11.1	14.1	0.7	14.1	15.6	0.7	3.7	3.0	52,948
50代	135	31.9	1.5	14.8	4.4	9.6	0.7	17.8	8.9	3.0	3.0	4.4	64,148
60代	135	39.3	2.2	16.3	6.7	11.1	0.7	10.4	7.4	-	3.0	3.0	55,000
70代	135	43.7	1.5	10.4	7.4	12.6	2.2	11.1	6.7	1.5	2.2	0.7	30,519
女性計	810	25.8	3.2	15.8	14.2	12.0	2.0	14.6	8.9	0.7	1.4	1.5	36,446
20代	135	24.4	3.0	14.8	11.9	17.0	4.4	13.3	8.9	-	0.7	1.5	35,819
30代	135	18.5	4.4	11.1	12.6	18.5	5.2	18.5	10.4	0.7	-	-	32,770
40代	135	17.0	4.4	16.3	17.8	10.4	0.7	18.5	11.9	-	2.2	0.7	38,467
50代	135	32.6	3.0	20.0	13.3	5.9	-	15.6	5.2	-	3.0	1.5	32,504
60代	135	32.6	3.0	13.3	12.6	11.1	-	11.9	8.9	3.7	0.7	2.2	36,785
70代	135	29.6	1.5	19.3	17.0	8.9	1.5	9.6	8.1	-	1.5	3.0	42,333

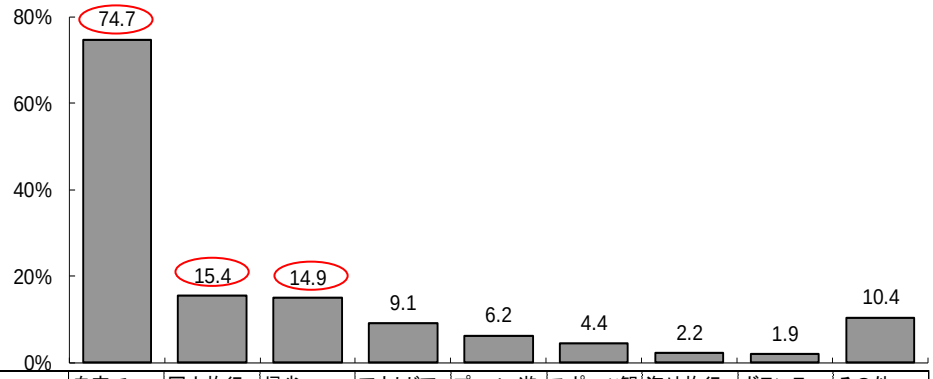
Ｑ今年のＧＷに使うお金は、昨年と比べ増やす予定ですか。

	回答者数（人）	増やす（%）	減らす（%）	変わらない（%）
全体	1620	30.8	18.3	51.0
男性計	810	31.2	20.4	48.4
女性計	810	30.3	16.2	53.5

【「増やす」と回答した人の平均予算】

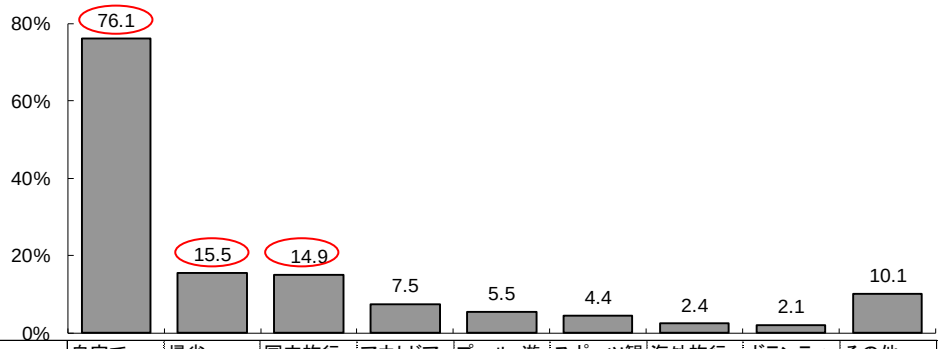
	平均額
全体	70,222円
男性計	78,224円
女性計	62,219円

Ｑ今年のＧＷはどのように過ごしますか



	回答者数（人）	自宅でゆっくり（%）	国内旅行（%）	帰省（%）	アウトドア（%）	プール・遊園地・テーマパーク（%）	スポーツ観戦（%）	海外旅行（%）	ボランティア（%）	その他（%）
全体	1620	74.7	15.4	14.9	9.1	6.2	4.4	2.2	1.9	10.4
男性計	810	71.0	16.7	13.8	11.6	6.8	6.7	3.2	2.6	12.0
20代	135	58.5	20.7	28.9	11.9	11.1	5.9	5.2	7.4	13.3
30代	135	61.5	25.9	22.2	15.6	16.3	14.8	6.7	4.4	11.9
40代	135	63.0	18.5	12.6	10.4	7.4	8.9	3.7	0.7	13.3
50代	135	74.1	16.3	10.4	16.3	3.7	3.7	3.0	1.5	12.6
60代	135	79.3	8.9	5.9	4.4	0.7	3.7	-	-	16.3
70代	135	89.6	9.6	3.0	11.1	1.5	3.0	0.7	1.5	4.4
女性計	810	78.4	14.1	16.0	6.7	5.7	2.2	1.2	1.2	8.9
20代	135	79.3	13.3	27.4	8.1	6.7	0.7	0.7	0.7	3.0
30代	135	72.6	19.3	29.6	14.8	16.3	0.7	0.7	-	6.7
40代	135	73.3	14.1	21.5	5.2	5.2	3.7	0.7	0.7	11.1
50代	135	80.7	13.3	10.4	3.7	2.2	4.4	0.7	2.2	12.6
60代	135	78.5	17.0	5.2	3.0	1.5	3.0	0.7	1.5	10.4
70代	135	85.9	7.4	2.2	5.2	2.2	0.7	3.7	2.2	9.6

Ｑ平成最後の日はどのように過ごしますか



	回答者数（人）	自宅でゆっくり（%）	帰省（%）	国内旅行（%）	アウトドア（%）	プール・遊園地・テーマパーク（%）	スポーツ観戦（%）	海外旅行（%）	ボランティア（%）	その他（%）
全体	1620	76.1	15.5	14.9	7.5	5.5	4.4	2.4	2.1	10.1
男性計	810	71.6	15.2	14.3	8.2	5.4	6.9	3.5	3.0	10.5
20代	135	60.5	29.4	14.3	7.2	9.3	6.8	4.3	6.9	11.5
30代	135	62.3	29.2	20.3	12.2	14.2	15.2	6.0	4.0	10.1
40代	135	65.1	15.5	15.2	8.3	4.5	9.4	4.5	0.7	13.3
50代	135	71.2	12.4	13.3	12.2	2.5	4.3	2.0	1.5	12.3
60代	135	80.2	2.2	10.5	5.0	1.0	3.4	-	-	15.0
70代	135	90.4	2.5	12.2	4.3	0.7	2.0	-	1.5	2.0
女性計	810	80.5	15.8	15.5	6.8	5.5	1.9	1.2	1.2	9.6
20代	135	82.3	29.4	12.2	8.4	7,1	0.7	0.7	0.7	2.5
30代	135	74.3	32.2	21.1	17.2	17.4	0.3	0.7	-	4.9
40代	135	78.2	19.2	16.2	3.5	5.0	3.3	0.7	0.7	12.4
50代	135	81.9	8.2	15.2	3.2	2.0	4.0	0.7	2.2	15.3
60代	135	77.2	4.3	19.0	3.0	1.3	2.3	0.7	1.5	12.2
70代	135	89.1	1.6	9.0	5.2	2.0	0.7	3.7	2.2	10.5

～チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト　小玉 祐一

●ＧＷ中に使うお金を増やすとした家庭が３０．８％と、減らすとした１８．３％を２桁以上上回ったのは好材料です。個人消費が昨年よりも大きく伸びることが期待できます。実際、「せっかくの１０連休を自宅で過ごすには長すぎる」と感じている人は少なくないと思われます。特に、旅行業界では期待するムードが高まっているようです。

本調査結果では、国内旅行が１５．４％、帰省が１４．９％と、約３割が国内での移動を予定しています。海外旅行は国内の景気刺激には貢献しませんが、割合は２．２％とさほど大きくありません。家族で外食に出る機会も増えるとみられるほか、改元に絡んだイベントを仕掛ける商業施設も多く、各地の観光施設やショッピングモール、テーマパークは例年にない盛り上がりを見せることになりそうです。一方で、各業界からは連休中の人手不足や、ＧＷ前後の節約ムードを警戒する声が挙がっています。観光立地ではない施設は客足の減少が予想されるなど、すべてが恩恵を被るわけではありません。しかし、全体としては景気にプラスとなる可能性が高いと言えます。

２．消費増税が家計に与える影響

消費増税は家計に大きな影響！！約６割の妻が増税後、おこづかいを「減らす」と回答！

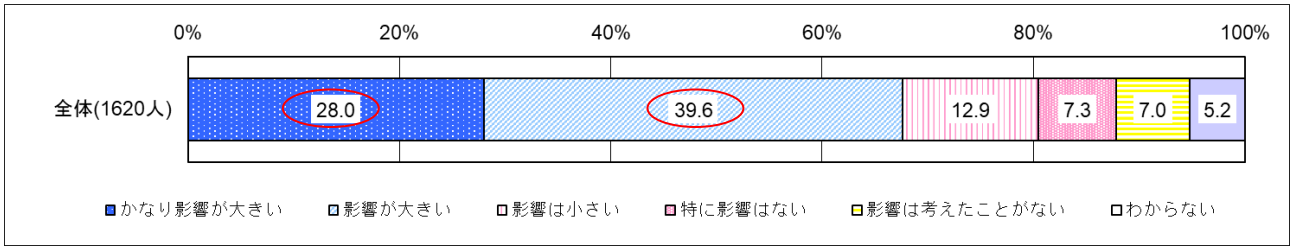
○１０月に予定されている消費増税が家計に与える影響について、聞いてみました。

○全体では、「かなり影響が大きい」（２８．０％）と「影響が大きい」（３９．６％）を足した、影響が大きい合計は６７．６％と７割近くを占める結果となりました。

○さらに、消費増税後の節約について聞いてみたところ、「外食を控える」（５４．０％）、次いで「食費を減らす」（４１．９％）、「光熱費を減らす」（４１．０％）という結果になりました。

○消費増税後、おこづかいの金額についてどうするか聞いたところ、約６割の妻が「減らす」（５８．３％）と回答しました。消費増税は、日常生活に直結する“減らしやすい”所から減らす傾向があるようです。世のお父さん達の財布事情に大きな影響を与えそうです。

Ｑ１０月に予定されている消費増税は、あなたの家計に影響を与えますか

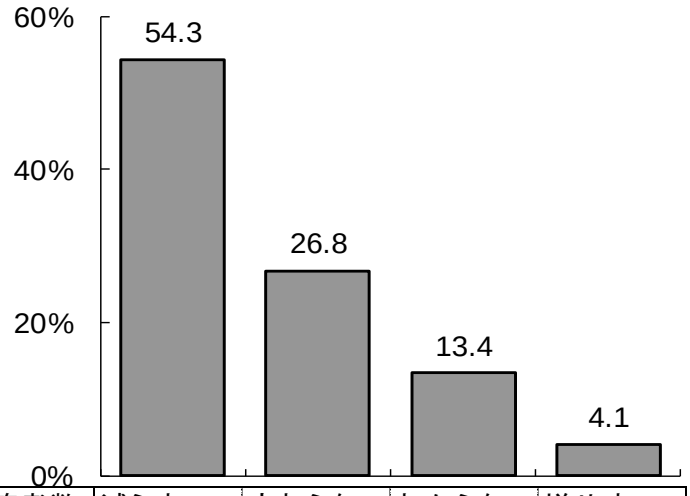


	回答者数（人）	かなり影響が大きい（%）	影響が大きい（%）	影響は小さい（%）	特に影響はない（%）	影響は考えたことがない（%）	わからない（%）
全体	1620	28.0	39.6	12.9	7.3	7.0	5.2
夫計	810	25.7	38.4	14.6	8.5	7.9	4.9
20代	135	28.9	45.2	9.6	5.2	6.7	4.4
30代	135	27.4	43.0	9.6	7.4	11.1	1.5
40代	135	26.7	38.5	14.1	6.7	5.9	8.1
50代	135	28.1	33.3	14.1	10.4	8.1	5.9
60代	135	21.5	34.1	20.7	11.1	6.7	5.9
70代	135	21.5	36.3	19.3	10.4	8.9	3.7
妻計	810	30.4	40.7	11.2	6.0	6.0	5.6
20代	135	31.1	43.0	7.4	5.9	5.2	7.4
30代	135	40.0	34.1	7.4	5.9	6.7	5.9
40代	135	39.3	40.7	8.9	4.4	3.7	3.0
50代	135	23.7	49.6	8.9	5.2	6.7	5.9
60代	135	25.9	34.8	17.8	6.7	8.1	6.7
70代	135	22.2	42.2	17.0	8.1	5.9	4.4

Q増税後、どのような節約を実施しますか（上位３位）

	回答者数（人）	外食を控える（%）	食費を減らす（%）	光熱費をおさえる（%）
全体	1620	54.0	41.9	41.0
夫計	810	53.7	37.9	41.4
妻計	810	54.2	45.8	40.6

Q増税後、おこづかいの金額はどうしますか



	回答者数（人）	減らす（%）	変わらない（%）	わからない（%）	増やす（%）
全体	1620	54.3	26.8	13.4	4.1
夫計	810	50.3	31.1	13.2	5.4
妻計	810	58.3	22.4	13.6	2.7

～チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト　小玉 祐一

●増税を喜ぶ人はいません。なかでも日本人の「消費税アレルギー」は諸外国を上回ると言われており、時の政権が倒れる要因にもなってきました。本調査結果では、そうした日本人の気質を顕著に示していると言えます。とりわけ、妻の６割がおこづかいを減らすとの回答は、世の男性にとってはショッキングかもしれません。ただ、どれだけの家庭が実際に行動に移すかはわかりません。「消費増税反対」の意思表示という意味合いで回答した人もいるでしょう。

今回の消費増税に関しては、手厚い消費増税対策も用意されており、前回の増税時よりも家計への悪影響は小さくなるとみています。政府としては、今後、社会保障改革をしっかり進めることで、国民の不満に応えていく必要があります。個人消費が伸び悩む背景には、社会保障制度の持続性への漠然とした不安があると言われているためです。北欧の消費税率は日本よりはるかに高いですが、日本のような拒否反応は見られません。負担と給付の結びつきがきちんと見えるようになれば、国民の「消費税アレルギー」もずいぶんと和らぐのではないでしょうか。

３．家計の状況について

（１）夫婦のおこづかい

おこづかい額は「２８，０８０円」と２年連続の増加！
約９割が現在のおこづかいは不足と回答！希望額とは実に１万円以上の差が！

〇夫婦のおこづかい（月に自由に使えるお金）の金額について聞いてみました。

〇全体の月平均額は、昨年から１，０４３円増加し「２８，０８０円」となりました。夫婦別では、夫は昨年から３，０７５円増加し「３７，７７４円」となり、調査開始以降２番目の増加額となりました。一方、妻は９９０円減少し「１８，３８６円」と、調査開始以来最低額を記録しました。

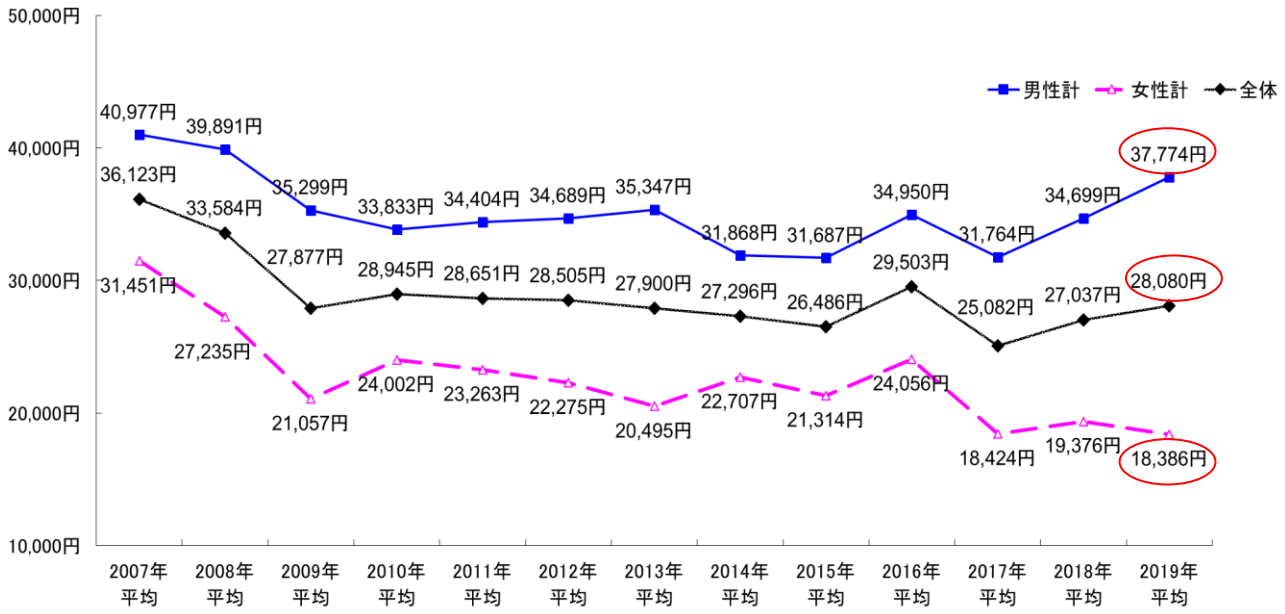
〇また、夫婦それぞれのおこづかいの充足感について聞きました。

〇「十分足りている」と答えたのは全体では９．６％と、現在のおこづかいの金額に満足しているのは全体の約１割しかなく、「少し足りていない」「全然足りていない」と、現在のおこづかいの金額に満足していないと回答したのは約９割を占めました。

〇希望するおこづかい金額を聞いてみたところ、全体では「３８，８９４円」と実際の金額と約１万円以上の差がありました。男女別では、夫は「５１，７００円」と実際の金額と約１万４千円の開きが、妻も「２６，０８７円」と約８千円の開きがありました。

Ｑ．月に自由に使えるお金はいくらですか（金額回答）※２０代～５０代調べ

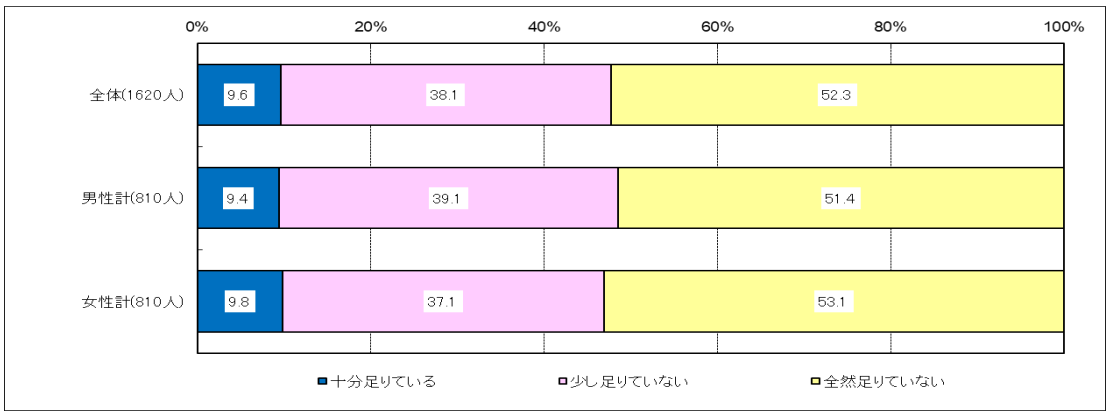
【おこづかい金額の推移】



【おこづかい金額の詳細】

	回答者数（人）	0円（%）	～5千円（%）	～1万円（%）	～2万円（%）	～3万円（%）	～5万円（%）	～10万円（%）	10万円超（%）	平均（円）
全体	1080	13.2	7.5	17.6	19.0	18.8	14.2	7.8	1.9	28,080
夫計	540	9.3	3.3	9.8	18.7	24.6	19.3	11.9	3.1	37,774
20代	135	11.9	4.4	14.8	15.6	25.2	14.8	11.1	2.2	30,474
30代	135	8.1	2.2	12.6	23.7	22.2	18.5	9.6	3.0	38,519
40代	135	5.2	2.2	7.4	23.7	26.7	21.5	11.1	2.2	39,007
50代	135	11.9	4.4	4.4	11.9	24.4	22.2	15.6	5.2	43,096
妻計	540	17.2	11.7	25.4	19.3	13.0	9.1	3.7	0.7	18,386
20代	135	18.5	9.6	25.9	20.0	9.6	10.4	5.2	0.7	19,678
30代	135	17.8	11.1	23.7	20.0	15.6	7.4	3.7	0.7	18,341
40代	135	16.3	14.1	24.4	19.3	15.6	7.4	1.5	1.5	17,141
50代	135	16.3	11.9	27.4	17.8	11.1	11.1	4.4	-	18,385

Q．現在のおこづかいについて、どう思っていますか



	回答者数（人）	十分足りている（%）	少し足りていない（%）	全然足りていない（%）
全体	1620	9.6	38.1	52.3
男性計	810	9.4	39.1	51.4
女性計	810	9.8	37.1	53.1

Q．１ヵ月に希望するおこづかい金額はいくらですか（金額回答）※２０代～５０代調べ

	回答者数（人）	0円（%）	～5千円（%）	～1万円（%）	～2万円（%）	～3万円（%）	～5万円（%）	～10万円（%）	10万円超（%）	平均（円）
全体	1080	7.8	3.8	13.9	15.1	20.8	22.9	12.9	2.9	38,894
夫計	540	5.9	1.3	5.0	10.9	21.3	31.7	19.1	4.8	51,700
20代	135	8.1	2.2	6.7	11.1	23.7	29.6	17.0	1.5	38,926
30代	135	4.4	0.7	4.4	15.6	22.2	28.9	17.8	5.9	56,215
40代	135	4.4	1.5	4.4	10.4	20.0	35.6	17.8	5.9	52,200
50代	135	6.7	0.7	4.4	6.7	19.3	32.6	23.7	5.9	59,459
妻計	540	9.6	6.3	22.8	19.3	20.4	14.1	6.7	0.9	26,087
20代	135	10.4	8.1	24.4	17.0	18.5	11.9	8.1	1.5	27,333
30代	135	8.9	6.7	17.8	20.7	24.4	14.8	5.2	1.5	26,807
40代	135	10.4	5.9	20.0	23.0	23.0	12.6	5.2	-	24,008
50代	135	8.9	4.4	28.9	16.3	15.6	17.0	8.1	0.7	26,200

３．家計の状況について
（２）夫婦のランチ代

ランチ代は調査開始以来最高額を更新！
妻のランチ代は「１，３６６円」と、４年連続で増加！妻と夫とのランチ代の格差はさらに拡大！

○夫婦のランチ代について聞いてみました。全体の平均額は昨年から１３円増加し、２０１３年の当項目調査開始以来（※）最高の「１，０５５円」となりました。

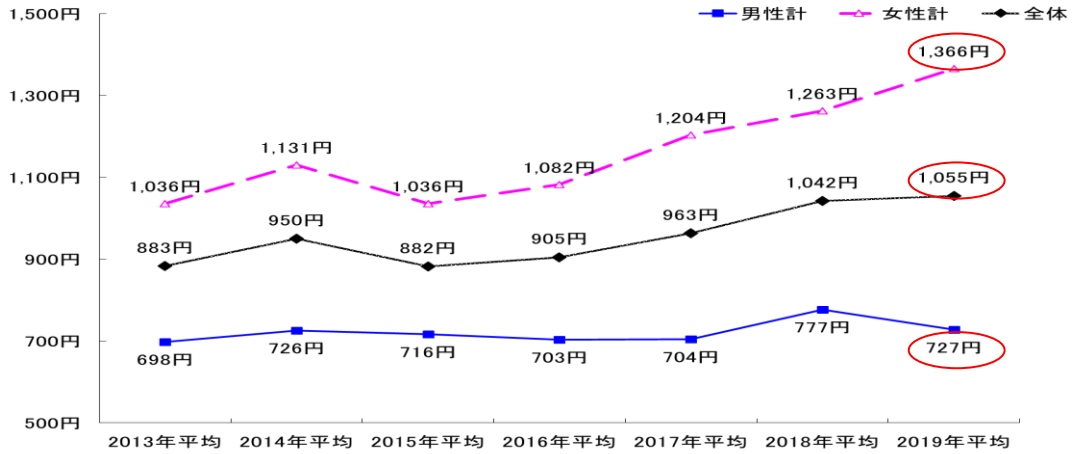
○男女別では、夫は「５００円台」（２８．４％）が最も多く、平均額は昨年から５０円減少し「７２７円」となりました。一方、妻は「１，０００円～１，５００円未満」（３９．５％）が最も多く、次いで「１，５００円以上」（３５．０％）となり、平均額は調査開始以来（※）最高額を更新し、「１，３６６円」と、実に夫の約１．９倍の金額となりました。

（※）２０１３年～２０１６年は「いい夫婦の日に関するアンケート調査」

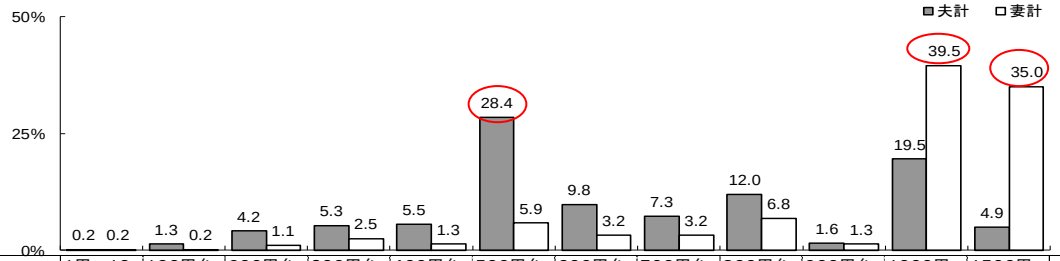
○前述（１０ページ）のとおり、世の中の妻の多くは、自身のおこづかいを減らして倹約に努めているものの、せめてランチでは「プチ贅沢」を、という妻の思いがあらわれているのかもしれませんね。

Q．平日のランチ代は１回いくらですか（金額回答）

【ランチ代の推移】



【ランチ代の詳細】



	回答者数（人）	1円～100円未満（%）	100円台（%）	200円台（%）	300円台（%）	400円台（%）	500円台（%）	600円台（%）	700円台（%）	800円台（%）	900円台（%）	1000円～1500円未満（%）	1500円以上（%）	平均（0円含まない）（円）
全体	925	0.2	0.8	2.6	3.9	3.4	16.9	6.4	5.2	9.3	1.4	29.7	20.3	1,055
夫計	451	0.2	1.3	4.2	5.3	5.5	28.4	9.8	7.3	12.0	1.6	19.5	4.9	727
20代	88	-	-	6.8	8.0	2.3	29.5	5.7	6.8	12.5	2.3	19.3	6.8	716
30代	91	1.1	2.2	6.6	7.7	8.8	28.6	9.9	4.4	8.8	-	18.7	3.3	699
40代	87	-	2.3	1.1	1.1	9.2	35.6	9.2	10.3	11.5	2.3	14.9	2.3	650
50代	73	-	1.4	4.1	5.5	4.1	27.4	8.2	9.6	15.1	1.4	20.5	2.7	687
60代	66	-	-	4.5	6.1	4.5	21.2	16.7	6.1	13.6	1.5	18.2	7.6	732
70代	46	-	2.2	-	2.2	2.2	23.9	10.9	6.5	10.9	2.2	30.4	8.7	1,009
妻計	474	0.2	0.2	1.1	2.5	1.3	5.9	3.2	3.2	6.8	1.3	39.5	35.0	1,366
20代	79	-	1.3	3.8	6.3	2.5	3.8	1.3	2.5	8.9	-	45.6	24.1	1,096
30代	84	-	-	1.2	1.2	2.4	8.3	4.8	1.2	7.1	2.4	44.0	27.4	1,247
40代	82	-	-	-	4.9	-	9.8	6.1	3.7	4.9	2.4	39.0	29.3	1,184
50代	69	-	-	-	2.9	1.4	8.7	1.4	-	7.2	1.4	42.0	34.8	1,366
60代	81	1.2	-	-	-	1.2	4.9	3.7	6.2	7.4	-	30.9	44.4	1,491
70代	79	-	-	1.3	-	-	-	1.3	5.1	5.1	1.3	35.4	50.6	1,823

３．家計の状況について

（３）キャッシュレスの浸透について

決済手段は「現金派」と「キャッシュレス派(クレジットカード・電子マネー等)」がほぼ半々に！
さらなるキッシュレス化の浸透にむけて、新たなキャッシュレス決済手段の普及や
各種ポイント還元施策などが必要？

○日常の決済手段について聞いてみました。

○決済手段は「現金」（４７．５%)、「クレジットカード」（４７．４%)、「電子マネー」（１．９%)、「デビットカード」（１．４%)、「ＱＲコード決済」（０．６%)、「仮想通貨」（０．２%）となり、「現金派」と「キャッシュレス派」が半々であるとの結果となりました。

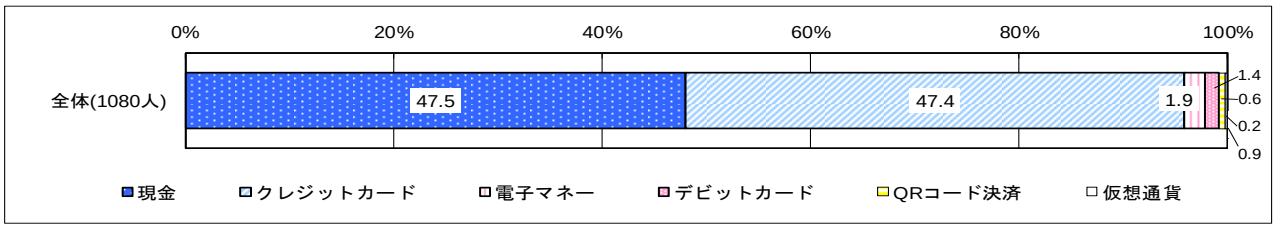
○決済手段が「現金」と答えた人は、「現金払いのほうが浪費を防げるため」（３６．３%)、「紛失・盗難・個人情報流出等による不正利用の恐れがあるため」（３１．２%）の回答が多い結果となりました。また、決済手段が「現金以外」と答えた人は「現金を持ち歩く必要がなく、利便性が高いため」（３０．２%)、「ポイントが付く等、経済的メリットがあるため」（２９．１%)、「ネットショッピングにおいて必要なため」（２５．９%）の回答が多い結果となりました。

○キャッシュレス決済を主に行なう人の月平均額は、「５，０００円～１万円未満」（４０．６%）が一番多い結果となりました。男女別にみると「５，０００円～１万円未満」は女性より男性のほうが多く、「１万円以上」は男性より女性のほうが多い結果となりました。男性の方が電子マネーで決済する金額が高い傾向にあるようです。

○１０月から予定されている消費増税に伴い、政府がキャッシュレス決済での消費に特典がある施策を打ち出していることについて、「これを機にキャッシュレス化を考えるか」を聞いたところ、「考える」「施策の内容では考える」の合計が約７割を占めました。

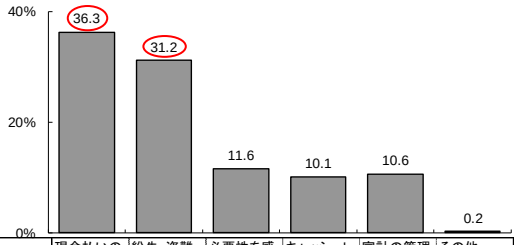
○政府はキャッシュレス決済の比率を２０２５年に４０%、将来的に８０%をめざしていますが、今後のいっそうのキッシュレス化の浸透にむけては、「ＱＲコード決済」などの新たなキャッシュレス決済手段の普及や、各種ポイント還元施策などがカギとなってくるでしょう。

Q．あなたが最も多く利用する支払い手段は何ですか？



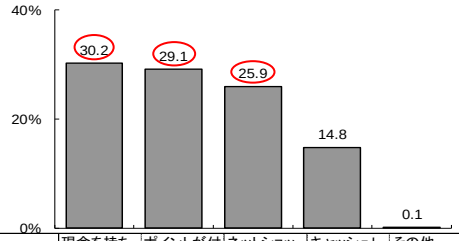
	回答者数（人）	現金（%）	クレジットカード（%）	電子マネー（%）	デビットカード（%）	QRコード決済（%）	仮想通貨（%）	その他
全体	1080	47.5	47.4	1.9	1.4	0.6	0.2	0.9
男性計	540	45.1	47.7	2.7	2.0	0.7	0.2	1.6
20代	135	47.6	40.2	5.5	2.9	2.4	-	1.4
30代	135	44.3	48.2	2.1	3.6	1.3	0.5	-
40代	135	48.1	48.4	1.1	-	0.3	-	2.1
50代	135	40.4	53.9	2.2	2.1	-	-	1.4
女性計	540	50.0	47.1	1.1	0.8	0.7	0.1	0.3
20代	135	56.2	38.2	2.1	1.4	2.1	-	-
30代	135	42.9	51.4	2.1	1.4	0.5	0.3	1.4
40代	135	56.4	42.9	0.7	-		-	-
50代	135	44.3	55.7	-	-		-	-

【決済手段を「現金」と答えた人の理由】



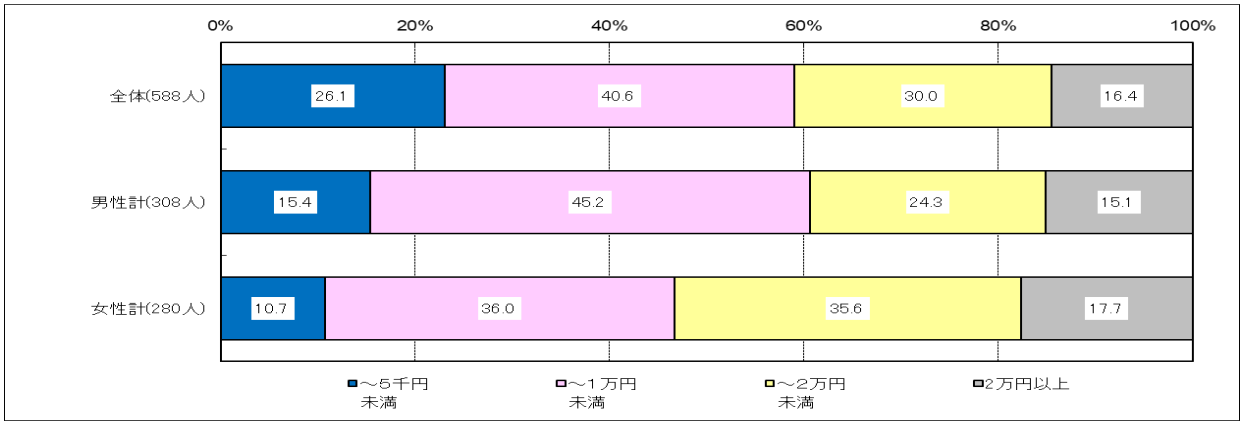
	回答者数（人）	現金払いのほうが浪費を防げるため（%）	紛失・盗難・個人情報流出等による不正利用の恐れがあるので（%）	必要性を感じないので（%）	キャッシュレス決済に対応できない店舗があるため（%）	家計の管理がしやすいため（%）	その他（%）
全体	514	36.3	31.2	11.6	10.1	10.6	0.2
男性計	244	38.9	29.8	11.1	8.7	11.1	0.4
20代	64	53.0	22.7	12.1	4.5	7.6	-
30代	60	37.1	29.0	11.3	9.7	12.9	-
40代	65	44.8	14.9	10.4	10.4	17.9	1.5
50代	55	17.5	56.1	10.5	10.5	5.3	0.0
女性計	270	33.7	32.6	12.2	11.5	10.0	0.0
20代	76	47.4	32.1	6.4	7.7	6.4	-
30代	58	46.7	31.7	-	6.7	15.0	-
40代	76	27.8	36.7	16.5	17.7	1.3	-
50代	60	11.3	29.0	25.8	12.9	21.0	-

【決済手段を「現金以外」と答えた人の理由】



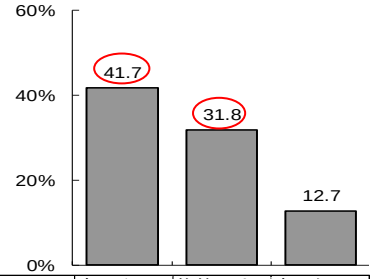
	回答者数（人）	現金を持ち歩く必要がなく、利便性が高いため（%）	ポイントが付く等、経済的メリットがあるため（%）	ネットショッピングにおいて必要なため（%）	キャッシュレス決済に対応できる店舗が増えたため（%）	その他（%）
全体	566	30.2	29.1	25.9	14.8	0.1
男性計	296	31.4	30.0	25.2	13.3	0.1
20代	71	33.2	24.5	29.9	12.4	-
30代	75	33.3	23.2	28.9	14.6	-
40代	70	29.2	33.3	20.4	20.1	0.6
50代	80	30.8	39.0	22.5	7.7	-
女性計	270	29.0	28.2	26.6	16.2	0.1
20代	59	29.6	24.4	30.3	15.7	-
30代	77	30.1	25.7	28.5	15.7	-
40代	59	25.7	27.5	28.2	18.6	-
50代	75	30.6	35.3	19.2	14.9	0.3

【キャッシュレス決済　ひと月の平均額】



	回答者数（人）	～5千円未満（%）	～1万円未満（%）	～2万円未満（%）	2万円以上（%）
全体	566	26.1	40.6	30.0	16.4
男性計	296	15.4	45.2	24.3	15.1
女性計	270	10.7	36.0	35.6	17.7

【政府は１０月からの消費増税に伴い、キャッシュレス決済での消費に特典がある施策を打ち出していますがこれを機に、キャッシュレス化を考えますか？】



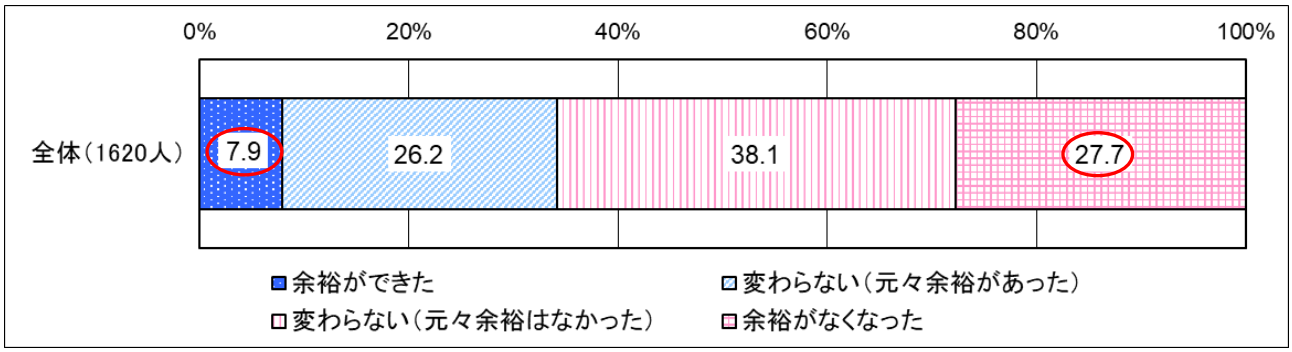
	回答者数（人）	考える（%）	施策の内容では考える（%）	考えない（%）
全体	1620	41.7	31.8	12.7
男性計	810	56.0	31.1	12.9
女性計	810	53.1	34.8	12.1

３．家計の状況について
（４）家計の状況と理由

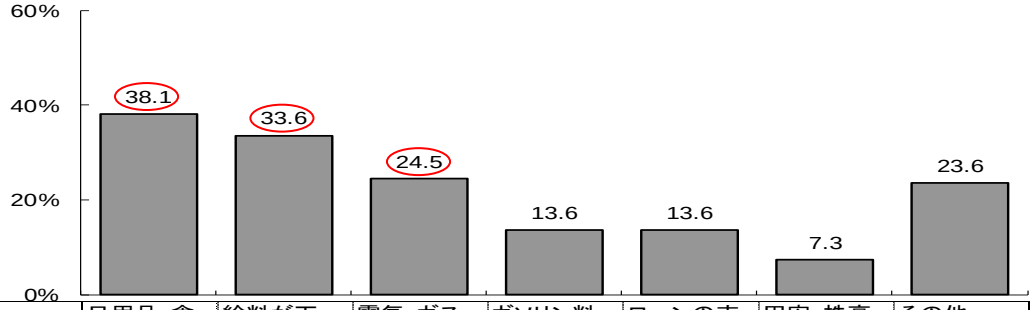
家計における景気回復の実感はまだまだ遠い！？
家計に余裕ができたと答えた人はわずか７．９％！

○昨年と比較し、自由に使えるお金に余裕ができたかを聞いてみました。
○「余裕ができた」と回答した人がわずか７．９％にとどまる一方、「余裕がなくなった」と回答した人は２７．７％と、「余裕ができた」の３倍以上という結果となりました。
○「余裕がなくなった」理由は、「日用品・食料品への支出が増えたため」（３８．１％）がトップ、次いで「給料が下がったため」（３３．６％）、「電気・ガス料金の支出が増えたため」（２４．５％）となりました。
○一方で、「余裕ができた」理由は、「給料が上がったため」（５０．８％）がトップとなり、次いで「副業を始めたため」（２０．３％）、「円安・株高等で利益（投資・業績等）がでたため」（１３．３％）となりました。

Q．昨年と比較し、「（自由に使える）お金」に余裕ができましたか

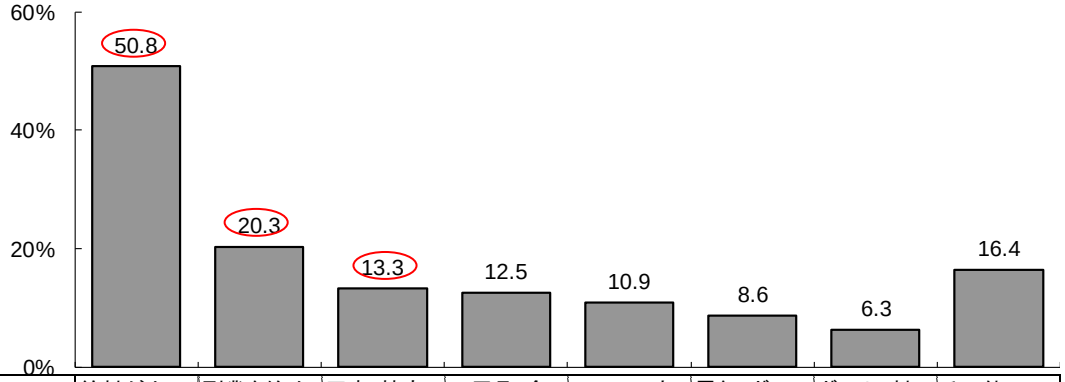


【余裕がなくなった理由】（複数回答）



	回答者数（人）	日用品・食料品への支出が増えたため（%）	給料が下がったため（%）	電気・ガス料金の支出が増えたため（%）	ガソリン料金の支出が増えたため（%）	ローンの支払が始まったため（%）	円安・株高等で損（投資・業績等）がでたため（%）	その他（%）
全体	449	38.1	33.6	24.5	13.6	13.6	7.3	23.6
男性計	214	37.9	28.5	26.2	15.9	16.8	7.0	19.2
男性20代	41	29.3	26.8	29.3	17.1	39.0	-	17.1
男性30代	45	48.9	26.7	24.4	11.1	20.0	8.9	17.8
男性40代	26	38.5	15.4	34.6	23.1	11.5	7.7	26.9
男性50代	32	28.1	50.0	15.6	15.6	15.6	6.3	18.8
男性60代	40	32.5	37.5	20.0	10.0	5.0	2.5	22.5
男性70代	30	50.0	10.0	36.7	23.3	3.3	20.0	13.3
女性計	235	38.3	38.3	23.0	11.5	10.6	7.7	27.7
女性20代	54	29.6	40.7	16.7	7.4	7.4	3.7	31.5
女性30代	50	48.0	34.0	18.0	16.0	16.0	4.0	26.0
女性40代	43	34.9	44.2	16.3	9.3	18.6	2.3	25.6
女性50代	26	23.1	53.8	15.4	3.8	15.4	11.5	34.6
女性60代	27	37.0	48.1	37.0	14.8	-	11.1	22.2
女性70代	35	54.3	14.3	42.9	17.1	2.9	20.0	25.7

【余裕ができた理由】（複数回答）



	回答者数（人）	給料が上がったため（%）	副業を始めたため（%）	円安・株高等で利益（投資・業績等）がでたため（%）	日用品・食料品への支出が減ったため（%）	ローンの支払が終わったため（%）	電気・ガス料金の支出が減ったため（%）	ガソリン料金の支出が減ったため（%）	その他（%）
全体	128	50.8	20.3	13.3	12.5	10.9	8.6	6.3	16.4
男性計	59	50.8	23.7	18.6	15.3	11.9	10.2	8.5	16.9
20代	21	66.7	28.6	23.8	23.8	4.8	14.3	4.8	4.8
30代	12	75.0	33.3	33.3	25.0	16.7	25.0	16.7	-
40代	4	50.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0
50代	14	35.7	14.3	7.1	-	7.1	-	-	35.7
60代	6	-	16.7	-	16.7	33.3	-	33.3	33.3
70代	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0
女性計	69	50.7	17.4	8.7	10.1	10.1	7.2	4.3	15.9
20代	19	73.7	15.8	5.3	15.8	-	10.5	-	-
30代	13	38.5	53.8	15.4	-	-	-	-	30.8
40代	11	63.6	9.1	-	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
50代	10	30.0	-	10.0	20.0	20.0	-	-	40.0
60代	12	41.7	-	16.7	8.3	16.7	-	-	16.7
70代	4	25.0	25.0	-	-	50.0	50.0	50.0	-

３．家計の状況について

（５）給与の満足度と理由

現在の給与に満足している人はわずか１６．６％！
給与に満足していない理由は、「貯蓄をするお金がないから」がトップ！

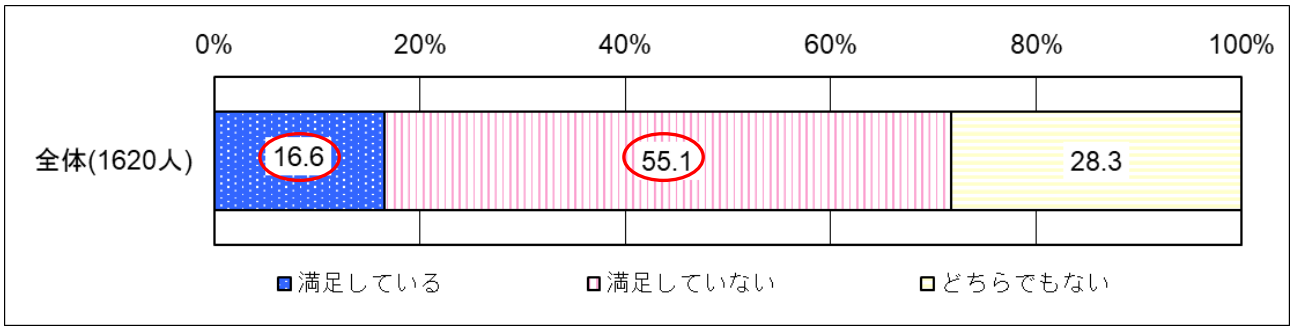
○現在の給与の満足度とその理由について聞いてみました。

○現在の給与に「満足している」と回答した人は１６．６％にとどまり、「満足していない」と回答した人の５５．１％を大きく下回りました。

○給与に満足していない理由については、「貯蓄をするお金がない（少ない）から」（４４．１％）がトップ、「日々の生活が苦しいから」（４１．２％）、「仕事量に見あわないから」（３１．８％）と続きました。

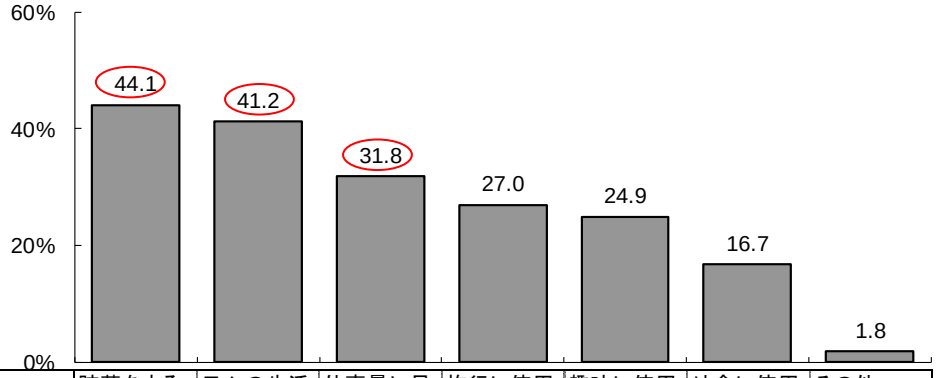
○男女別では、男性は、「日々の生活が苦しいから」（４２．０％）、「仕事量に見あわないから」（３８．５％）、「趣味に使用できるお金がない（少ない）から」（２８．３％）が、女性と比較し高い結果となりました。一方、女性は、「貯蓄をするお金がない（少ない）から」（５０．０％）が、男性と比較し高い結果となりました。男性は、趣味を充実させられないことに不満を多く抱いている一方、女性は貯蓄ができないことに不満を抱いているようです。

Q．現在の給与について満足していますか



	回答者数（人）	満足している（%）	満足していない（%）	どちらでもない（%）
全体	1620	16.6	55.1	28.3
男性計	810	16.3	59.4	24.3
20代	135	14.8	72.6	12.6
30代	135	15.6	67.4	17.0
40代	135	12.6	65.2	22.2
50代	135	25.2	57.0	17.8
60代	135	17.8	50.4	31.9
70代	135	11.9	43.7	44.4
女性計	810	16.9	50.9	32.2
20代	135	21.5	52.6	25.9
30代	135	17.8	60.0	22.2
40代	135	14.8	58.5	26.7
50代	135	16.3	48.1	35.6
60代	135	15.6	48.9	35.6
70代	135	15.6	37.0	47.4

【満足していない理由】（複数回答）



	回答者数（人）	貯蓄をするお金がない（少ない）から（%）	日々の生活が苦しいから（%）	仕事量に見あわないから（%）	旅行に使用できるお金がない（少ない）から（%）	趣味に使用できるお金がない（少ない）から（%）	外食に使用できるお金がない（少ない）から（%）	その他（%）
全体	893	44.1	41.2	31.8	27.0	24.9	16.7	1.8
男性計	481	39.1	42.0	38.5	26.4	28.3	16.2	1.7
20代	98	42.9	43.9	41.8	25.5	39.8	21.4	1.0
30代	91	49.5	50.5	40.7	31.9	28.6	25.3	-
40代	88	44.3	35.2	46.6	28.4	29.5	15.9	1.1
50代	77	28.6	41.6	49.4	22.1	24.7	13.0	2.6
60代	68	30.9	47.1	29.4	14.7	16.2	5.9	1.5
70代	59	32.2	30.5	13.6	35.6	25.4	10.2	5.1
女性計	412	50.0	40.3	24.0	27.7	20.9	17.2	1.9
20代	71	49.3	40.8	38.0	21.1	21.1	21.1	-
30代	81	63.0	42.0	22.2	35.8	25.9	27.2	2.5
40代	79	49.4	46.8	40.5	17.7	15.2	13.9	1.3
50代	65	50.8	46.2	18.5	16.9	20.0	12.3	1.5
60代	66	37.9	30.3	15.2	33.3	21.2	15.2	3.0
70代	50	46.0	32.0	-	46.0	22.0	10.0	4.0

～チーフエコノミスト小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田生命チーフエコノミスト　小玉 祐一

●夫と妻のランチ代の格差は、毎日外食の人も多い夫と、たまの贅沢を楽しむ専業主婦との違いかもしれません。小遣いの額では夫が妻に２倍以上の差をつけており、妻の方が特段羽振りがいいというわけではないと考えられます。夫の場合、夜の会合の頻度が高い分、ランチにあまりお金をかけられないという面もあるでしょう。逆に妻の場合、友人との豪華ランチが数少ない息抜きの機会になっている可能性もありそうです。

　それにしても、家計に余裕ができたという人がわずか７．９％というのは寂しい限りです。現在の給与に満足している人も１６．６％にすぎません。６年あまりも景気回復が続いているにもかかわらず、いまだに賃金の伸びが鈍いことが影響していると考えられます。今年の春闘も、昨年を下回る結果になることが有力で、残念ながら、家計が景気回復の実感を得られない状況はまだ続きそうです。

４．貯蓄について

貯蓄の金額と目的

約２割が貯蓄額０円！貯蓄額は、平均「１，２９３万円」！

〇世帯の貯蓄額と貯蓄の目的について聞いてみました。

〇全体では、「０円」が１９．４％と最も高く、男女ともに５０代以上で、平均貯蓄額が１，０００万円を超えています。

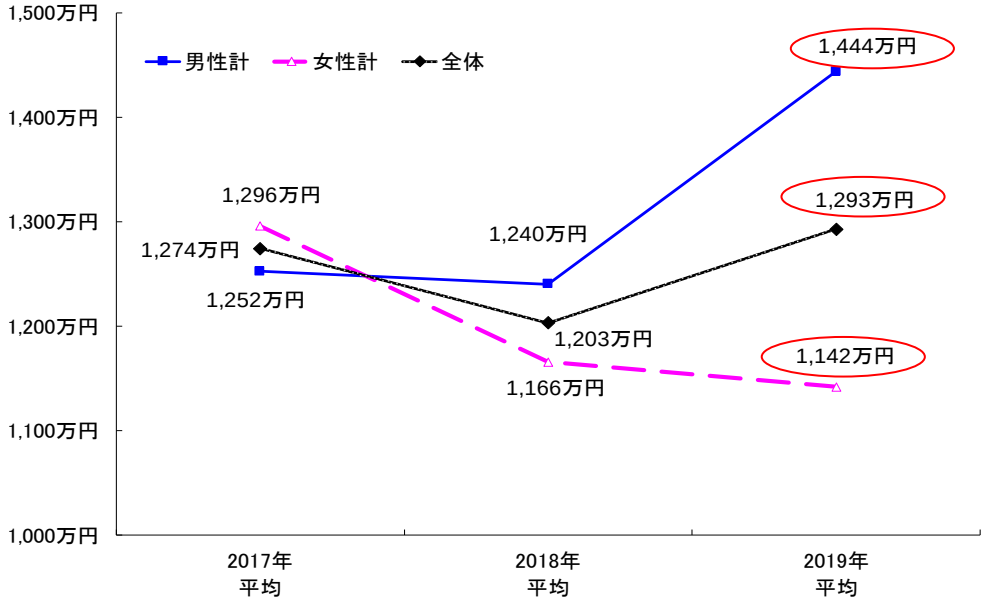
〇過去３年間の平均貯蓄額の推移をみると、全体の平均貯蓄額は３年前から１９万円、昨年から９０万円増加しています。さらに、男性は昨年から２０４万円増加しており、６０代、７０代は２，０００万円を超え、貯蓄志向が年々高くなっているようです。一方、女性は過去３年間で平均貯蓄額が減少しており、昨年から２４万円減少しています。

〇貯蓄の目的は、「将来のため」「いざというとき」「子どもの教育資金」などの貯蓄目的は女性の割合が高く、「家族旅行」「趣味」「マイホーム購入」「マイカー購入」は男性の割合が高い傾向になりました。

Q．世帯での貯蓄はいくらありますか（金額回答）

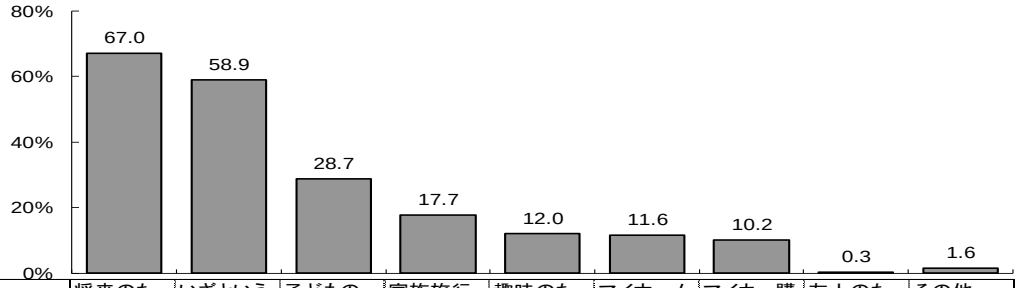
	回答者数（人）	0円（%）	～100万円未満（%）	～300万円未満（%）	～500万円未満（%）	～1000万円未満（%）	～1500万円未満（%）	～2000万円未満（%）	～3000万円未満（%）	～5000万円未満（%）	5000万円以上（%）	平均（万円）
全体	1620	19.4	7.4	13.4	8.6	15.8	10.3	3.9	6.4	6.9	7.9	1,293
男性計	810	17.5	6.9	14.4	8.8	16.2	8.9	4.2	6.3	7.8	9.0	1,444
20代	135	20.7	13.3	28.1	12.6	13.3	6.7	-	1.5	0.7	3.0	576
30代	135	14.8	8.1	20.0	11.9	22.2	4.4	4.4	5.2	4.4	4.4	950
40代	135	17.8	9.6	13.3	10.4	18.5	10.4	3.7	5.9	8.1	2.2	875
50代	135	20.7	5.2	14.1	4.4	9.6	13.3	5.9	8.1	8.9	9.6	1,558
60代	135	12.6	3.0	6.7	9.6	14.8	10.4	5.9	8.1	14.1	14.8	2,320
70代	135	18.5	2.2	4.4	3.7	18.5	8.1	5.2	8.9	10.4	20.0	2,382
女性計	810	21.4	7.9	12.3	8.4	15.4	11.7	3.6	6.5	5.9	6.8	1,142
20代	135	23.0	22.2	14.1	13.3	14.8	6.7	2.2	1.5	0.7	1.5	504
30代	135	13.3	12.6	19.3	14.1	17.0	15.6	0.7	5.2	0.7	1.5	651
40代	135	23.7	8.1	13.3	9.6	23.0	10.4	2.2	3.0	4.4	2.2	769
50代	135	31.9	4.4	13.3	5.2	11.9	11.9	5.2	3.0	5.2	8.1	1,051
60代	135	19.3	-	8.1	5.2	11.9	16.3	5.9	10.4	12.6	10.4	1,607
70代	135	17.0	-	5.9	3.0	14.1	9.6	5.2	16.3	11.9	17.0	2,270

【過去３年間の貯蓄額（平均）の推移】



	2017年平均	2018年平均	2019年平均
全体	1,274万円	1,203万円	1,293万円
男性計	1,252万円	1,240万円	1,444万円
20代	537万円	322万円	576万円
30代	864万円	532万円	950万円
40代	736万円	1,241万円	875万円
50代	1,351万円	1,504万円	1,558万円
60代	1,853万円	2,167万円	2,320万円
70代	2,181万円	1,676万円	2,382万円
女性計	1,296万円	1,166万円	1,142万円
20代	471万円	240万円	504万円
30代	516万円	386万円	651万円
40代	830万円	659万円	769万円
50代	1,384万円	1,240万円	1,051万円
60代	1,842万円	1,898万円	1,607万円
70代	2,707万円	2,570万円	2,270万円

Q．貯蓄の目的は何ですか



	回答者数（人）	将来のため（%）	いざというときのため（%）	子どもの教育資金のため（%）	家族旅行のため（%）	趣味のため（%）	マイホーム購入のため（%）	マイカー購入のため（%）	友人のため（%）	その他（%）
全体	1305	67.0	58.9	28.7	17.7	12.0	11.6	10.2	0.3	1.6
男性計	668	65.9	56.0	26.5	19.8	15.0	12.3	13.3	0.4	1.5
20代	107	51.4	53.3	41.1	32.7	21.5	31.8	26.2	0.9	-
30代	115	58.3	62.6	47.0	20.0	20.0	22.6	17.4	0.9	0.9
40代	111	64.9	52.3	44.1	15.3	9.0	15.3	9.9	-	0.9
50代	107	73.8	53.3	27.1	14.0	14.0	4.7	13.1	-	0.9
60代	118	81.4	52.5	-	17.8	10.2	-	7.6	-	2.5
70代	110	64.5	61.8	0.9	19.1	15.5	-	6.4	0.9	3.6
女性計	637	68.3	61.9	30.9	15.5	8.8	11.0	6.9	0.2	1.7
20代	104	58.7	52.9	56.7	18.3	4.8	41.3	10.6	-	1.0
30代	117	65.8	65.0	56.4	24.8	11.1	13.7	8.5	-	-
40代	103	67.0	61.2	48.5	12.6	5.8	7.8	6.8	-	-
50代	92	81.5	50.0	20.7	12.0	9.8	1.1	7.6	-	4.3
60代	109	77.1	61.5	0.9	11.9	8.3	-	5.5	-	3.7
70代	112	61.6	77.7	1.8	12.5	12.5	1.8	2.7	0.9	1.8